

主な出来事

【内政】

- 国民対話市民社会フェーズの終了
- 国民対話政党フェーズの開始
- ジャン・ピンによる大規模集会の開催

【外政】

- ボンゴ大統領によるタンザニア前大統領との会談
- ボンゴ大統領によるコンゴ（民）外相との会談
- ボンゴ大統領によるナイジェリア前大統領との会談
- ボンゴ大統領によるコンゴ（民）大統領との会談

【経済】

- ボンゴ大統領による中国ＡＶＩＣ社代表との会談
- 中国経済ミッションの来訪
- 世銀による融資：３０７億ＣＦＡフラン
- ２０１７年ＣＥＭＡＣ経済成長率予測：５．１％

【内政】

１ ボンゴ大統領によるインフラ会合の開催

５日、アリ・ボンゴ大統領は、イソゼ・ンゴンデ首相、ベン・ムーバンバ副首相臨席のもと、インフラ会合を開催した。同会合にて、優先度の高いインフラプロジェクトへの資金集中に向けた２０１７―２０２０年計画の採択が決定された。（６日付ＵＮ）

２ ＰＳＧ党首による国民対話不参加の表明

ムサヴ・キング・ガボン社会党（ＰＳＧ）党首は、国民対話への参加を表明した野党を批判し、同対話への不参加を改めて表明した。（６日付ＵＮ）

３ 国民対話市民社会フェーズの終了

１２日、国民対話市民社会フェーズが終了し、終了式にて、同フェーズにて作成された一般報告書が提出されたほか、各種パネルの報告者から選挙改革、制度機構改革、法治国家・民主主義の強化に係る詳細な報告が行われた。（１３日付ＵＮ）

４ 国民対話政党フェーズの開始

１８日、国民対話政党フェーズが開始され、与野党関係者が出席した。同フェーズでは、市民社会フェーズに続き、選挙改革、制度機構改革、公的生活の改革、平和の強化、国民融合について各種委員会において意見交換が行われる。（１８日付ＵＮ）

５ ジャン・ピンによる大規模集会の開催

１５日、ジャン・ピンによる「新共和国のための連盟」は、リーブルビル市内にて大規模

な政治集会を開催し、2万人以上が集結した。アリ・ボンゴ大統領の再選に異議を唱えるジャン・ピンは、同大統領に対して直ちに政権交代に応じるよう呼びかけた。（18日付UN）

6 国民対話AUファシリテーターの関係者との協議

14日、ルバ・ムハンマド・エル・ハッサンが国民対話のAUファシリテーターとしてリーブルビルに派遣された。同氏は、関係者と協議を行い、民主的な改革に向け、関係者間での公正かつ効果的なコンセンサスの模索を後押しする旨抱負を述べた。（15日UN、18日UN）

【外政】

1 ボンゴ大統領によるムバダラ開発代表との会談

4日、アリ・ボンゴ大統領は、ハリ・バルシュ・ムバダラ開発代表と会談し、ガボン及びア首連間の協力について意見交換を行った。（5日付UN）

2 ボンゴ大統領によるタンザニア前大統領との会談

13日、キクウェテ・タンザニア前大統領はアリ・ボンゴ大統領に対し、ゴードン・ブラウン国連グローバル教育担当特使の親書を手交し、ガボンが教育分野における開発プログラム対象国に選出された旨発表した。（14日付UN）

3 ボンゴ大統領によるコンゴ（民）外相との会談

14日、アリ・ボンゴ大統領は、大統領特使として訪問したシェ・オキトウンドウ・コンゴ（民）外相と会談し、二国間及び中部アフリカ諸国経済共同体（ECCAS）協力について意見交換を行った。（17日付UN）

4 ボンゴ大統領によるナイジェリア前大統領との会談

18日、アリ・ボンゴ大統領は、グッドラック・ジョナタン・ナイジェリア前大統領と会談し、各種セクターにおける二国間協力、昨今のアフリカ情勢について意見交換を行った。（19日付UN）

5 ボンゴ大統領によるコンゴ（民）大統領との会談

24日、アリ・ボンゴ大統領は、カビラ・コンゴ（民）大統領と会談し、ECCASの機構改革、中部アフリカ情勢及び二国間関係について意見交換を行った。（25日付UN）

【経済】

1 中国経済ミッションの来訪

4日、アリ・ボンゴ大統領は来訪中のLiu Shaoxi 中国国際商工会議所（CCOIC）副会長と会談した。Liu副会長は、中国から32社約60名のビジネスマンを率いてガボンを訪問し、会談では、木材、鉱山開発、教育分野における中国の対ガボン投資について話し合われた。また、5日、リーブルビルにおいてガボン政府、ガボン経済界代表、中国経済ミッションの三者会合が行われ、リンゾンゾ投資促進副大臣、フアングニ・アンブルエ石油大臣、マニャニャ鉱山大臣が出席した。（6日付UN、5日付GR）

2 世銀による融資：307億CFAフラン

世銀は、国際復興開発銀行（IBRD）を通じた307億CFAフラン（約5,000万ドル）の融資を承認した。同融資は、国家統計システムの開発に用いられ、貧困、インフラ、GDP、保健、雇用、農業といった統計データを活用した効果的な開発が期待される。（5日付GR）

3 Maurel&Promによる総決算発表

Maurel&Promは2016年総決算を発表し、ガボン及びタンザニアにおける同社の日産石油生産量が前年の18,376バレルから、25,202バレルに増加したことを受け、売上高が前年比15%増の3億1,700万ユーロとなる旨公表した。（6日付UN）

4 トタル・ガボンによる総決算発表

トタルは2016年総決算を発表し、油価下落により、売上高は前年比11%減の7億4,500万ドルとなる旨公表した。（7日付UN）

5 ボンゴ大統領によるパーム油加工工場落成式の出席

11日、オラム社がングニエ州ムイラに建設したパーム油加工工場の落成式が開催され、アリ・ボンゴ大統領が出席した。PPPの一環として建設された同工場は、年間13万8,700トンのパーム油の生産を可能にし、50名の工員で操業が開始され、1年半後には120名まで増員される予定。（12日付UN）

6 ボンゴ大統領による中国AVIC社代表との会談

13日、アリ・ボンゴ大統領は、中国AVIC社代表と会談し、同代表は大統領に対して、リーブルビル、ポールジャンティ、フランスビルの職業訓練校3校の建設を確約した。（14日付UN）

7 2017年CEMAC経済成長率予測：5.1%

17-18日に開催されたIMF及び世銀年次総会にて、2017年の中部アフリカ経済通貨共同体（CEMAC）成長率は5.1%となる旨発表された。（21日付UN）

出典:PR(大統領府公式HP),UN(ユニオン紙),GM(ガボン・マタン紙),GN(ガボン・ニュース電子版ニュース),AFP,GA(Gabonactu.com),GR(ガボン・レビュー電子版ニュース),LG(ル・ガボン電子版ニュース),GE(ガボン・エコ電子版ニュース),AFP(フランス通信社),GL(ガボンリーブル電子版ニュース),AFI(アフリカ・エネルギー・インテリジェンス),LP(LOUP 紙),EN(エコー・ノール紙)